

東洋陶磁学会第 52 回大会（2025 年度）のお知らせ

酷暑がようやく過ぎましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか？

本年度の第 52 回東洋陶磁学会大会は、2002 年 1 月の第 29 回大会以来、ほぼ四半世紀ぶりに沖縄県那覇市にて開催いたします。奮って参加くださいますよう、御案内申し上げます。

今回は、沖縄出土貿易陶磁と、近世、近・現代の沖縄陶器の二つのテーマで、29 回大会以後の研究成果が発表される予定です。御期待ください。

東 洋 陶 磁 学 会

記

- *日 時 2025 年 12 月 12 日（金）～15 日（月）
- *会 場 12 月 13 日・14 日：沖縄県立芸術大学
- *見学会 12 月 12 日（金） 13：00～14：30 壺屋見学（壺屋焼物博物館、重要文化財 新垣家住宅）
12 月 13 日（土） 9：30～11：15 首里城見学
12 月 15 日（月） 9：00～17：00 バス巡見（読谷村やちむんの里・座喜味城・ユンタンザミュージアム → 沖縄県立埋蔵文化財センター）
- *趣 旨 2002 年以來、四半世紀ぶりに沖縄で大会を実施します。今回は、沖縄で近年出土した貿易陶磁を基にした最新の研究と、近世、近・現代の沖縄陶器の二つのテーマを設定し、12 月 13 日と 14 日に沖縄県立芸術大学を会場としてシンポジウムを開催いたします。また、シンポジウムの前には、那覇市立壺屋焼物博物館（「中国陶磁名品展」）と壺屋地域、沖縄県立博物館・美術館、再建作業の進む首里城などの見学、シンポジウム後には、読谷村のやちむんの里（常秀工房、金城次郎窯、北窯）、世界遺産座喜味城跡とユンタンザミュージアム、沖縄県立埋蔵文化財センター（「首里城京の内跡出土品展」と県内遺跡出土陶磁器）などの見学を設定しています。

○発表日程・発表者・演題

12 月 13 日（土） 12：45～17：30（会場：沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス 一般教育棟 3 階大講義室）

【沖縄出土貿易陶磁】

「14～15 世紀における那覇港と久米島の陶磁組成―渡地村跡と宇江城出土資料を中心に―」

瀬戸哲也（元興寺文化財研究所）・砂川暁洸（久米島博物館）・山道峻（那覇市文化財課）

「首里城跡出土の龍泉窯青瓷 二階殿地区落ち込み資料を中心に」 柴田圭子（愛媛県埋蔵文化財センター）

「沖縄の沈船引揚げ中国陶瓷とその輸送ルート」

森 達也（沖縄県立芸術大学）・片桐千亜紀（沖縄県教育庁文化財課）・

具志堅清大（沖縄県教育庁文化財課）・亀島慎吾（沖縄県教育庁文化財課）

「出土陶磁からみた中世の日琉貿易」 續伸一郎（堺市文化財課）

「15 世紀琉球王国出土の中国陶磁器およびその東南アジア海域における意義」

秦 大樹（北京大学）中国語・通訳付

*18：45 より懇親会（居酒屋「守礼」、那覇市首里汀良町 1-29 1F、098-885-4467）

12 月 14 日（日） 9：00～15：00（会場：沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス 一般教育棟 3 階大講義室）

【沖縄陶器 近世、近現代】

「16 世紀から 17 世紀の琉球における瓦質土器及び陶器生産の様相と展開」 新垣 力（沖縄県教育庁文化財課）

「壺屋古窯群における分布と編年」 吉田健太（那覇市文化財課）

「琉球陶器厨子（蔵骨器）の研究」 宮城弘樹（沖縄国際大学）

「琉球処分を画期とした琉球・沖縄産陶器の変化について」 倉成多郎（那覇市立壺屋焼物博物館）

「壺屋焼からヤチムンへ～沖縄陶芸の戦後・現代史～」 比嘉立広（那覇市歴史博物館）

*大会研究発表については、後日録画配信を予定しております。録画配信の案内は、準備が整い次第メール登録会員宛にお知らせいたしますので、未登録の方は、HP の「入会・登録のご案内」から登録をお済ませください。

○見学会日程（博物館・首里城入場料は各自入場券を購入してください。）

12月12日（金） 壺屋見学（壺屋焼物博物館、重要文化財 新垣家住宅）

※ 集合場所：那覇市立壺屋焼物博物館 1階エントランス集合（13：00）学芸員展示解説・見学案内

※ 現地解散

12月13日（土） 首里城見学

※ 集合場所：守礼門周辺（9：30）首里城学芸員解説

※ 現地解散、沖縄県立芸術大学へ各自移動

12月15日（月） バス巡検

・ 9：00 沖縄都市モノレール（ゆいレール）おもろまち駅改札口集合・出発

（バスのトランクにスーツケース 15 個ほど収納可能。トランクが埋まった場合は車内に持ち込み。）

・ 10：00～11：00 やちむんの里（島袋常秀工房見学・北窯見学）

・ 11：15～12：20 ユンタンザミュージアム・座喜味城見学（学芸員展示解説・見学案内）

・ 12：20 ユンタンザミュージアム出発

（途中、イオンモール沖縄ライカムにて昼食。）

・ 14：00 沖縄県立埋蔵文化財センター着（調査員展示解説・見学案内）

・ 16：00 沖縄県立埋蔵文化財センター発

・ 16：30 古島駅着 解散（モノレール利用者は下車 平日夕方那覇市内は交通渋滞が激しいため、空港へはモノレール利用が確実です）

古島駅の次の駅が「おもろまち駅」。古島駅から那覇空港まで 23 分程度。

***大会参加申込要領** 同封の郵便払込票に必要事項を記入し、11月28日（金）必着で、下記諸費用の合計金額を払い込んでください。入金をもって申し込みとなります。

参加予定の在外会員の方で、日本以外から送金される方は、別途送金方法を案内しますので、事務局まで御連絡ください。

※大会参加費（特別会員を除く参加者全員）

2,000 円

バス巡検費用（15 日、予約者のみ）

2,000 円

弁当代（14 日、希望者のみ。希望されない方は各自あらかじめご準備ください。）

1,000 円

懇親会費（希望者のみ）

6,000 円

払込票記入説明

払込取扱票		通常払込料金 加入者負担
02	口座記号 (口座番号)	金額
001100	136273	金額
加入者名 東洋陶磁学会		料 金
第 52 回東洋陶磁学会大会参加費 (特別会員を除く参加者全員)		2000 円 ☒ 2,000 円
バス巡検費用 (15 日、希望者のみ)		2000 円 ☐ 円
弁当代 (14 日、希望者のみ)		1000 円 ☐ 円
懇親会費 (希望者のみ)		6000 円 ☐ 円
		合計
おなまえは、必ず会員登録名で記入してください。		日 附 印
振替払込請求書兼受領証		加入者名 東洋陶磁学会
金額		金額
ご依頼人		日 附 印
料 金		料 金
備 考		備 考

払込み項目に×印と金額を記入し、合計金額を金額欄に転記してください。

必ず登録会員名を記入してください。

【大会発表会場】 沖縄県立芸術大学当蔵キャンパス 一般教育棟 3階大講義室



【懇親会場】



【見学会集合場所】 那覇市立壺屋焼物博物館（12 日）・守礼門（13 日）



【バス巡検集合場所】

おもろまち駅改札口
（15 日）



※ご不明な点がございましたら、学会事務局までお問い合わせください。

東洋陶磁学会

〒102-0074
東京都千代田区九段南 1-5-6
りそな九段ビル 5 階 K S フロア
電話 080 - 6601 - 1263（大会当日連絡先兼用）
[https:// toyotoji.com/](https://toyotoji.com/)